

* 母子早期接触 *

* 母子早期接触(Skin to Skin)とは…

出生後の赤ちゃんを裸のまま母の胸に抱き
肌と肌を直接触れ合わせるケアです。
母子が互いの体温・心音・表情・声などの**五感**を通じて
交流することで心理的・生理的な相互作用が促されます



* 実施する前に…

助産師外来で説明させていただきます

早期母子接触をするかしないかをご主人や家族の方と相談をして決めましょう

***注:実施する際は、「同意書」の提出が必要になります。(不同意の方もサインして頂きます)**

* メリット

1、赤ちゃんが安定する

お母さんの心音や呼吸リズムが、赤ちゃんの自律神経に働きかけ呼吸や心拍数を安定させます。また、お母さんの胸で冷えやすい赤ちゃんの体温を保つことができます

2、お母さんと赤ちゃんの絆が深まる

お母さんと赤ちゃんとの「愛情の絆」は接触をすることで深まります

3、母乳育児が促進される

授乳をすることで授乳のためのホルモン分泌が刺激され母乳の出が良くなります。母乳育児に良い効果が期待できます

4、子宮収縮を促し産後出血を予防する



* デメリット

1、赤ちゃんが急変する可能性がある

生まれた直後の赤ちゃんの状態が良く、それまで異常が無い場合でも、急変する可能性があります。早期母子接触の有無に関係なく10分以内の急変事例が最も多いため注意が必要です。

(当院では生まれてすぐに実施せず、体温上昇してから行います)

2、赤ちゃんの低酸素血症となる可能性がある

赤ちゃんはお母さんの胸の上にうつぶせの状態となります。

まれに赤ちゃんの呼吸状態が悪くなって低酸素血症を引き起こすことがあります。

血中酸素を測定する機械を付けていきます。

3、落下の危険性がある

産後の疲れや慣れていない抱っこが原因で赤ちゃんを落としてしまうということも考えられます。

医療スタッフも十分に注意を払っていますが

疲れや眠気がつよい時には伝えましょう。



* 早期母子接触の方法



1、実施できない状況

母・・・疲労が強い・出血が多い・血圧が高いなど

赤ちゃん・・・早期産児・胎児機能不全があった・新生児仮死・低出生体重児など

***注意:医療スタッフが実施の判断をします。**

2、実施方法

① 上体挙上する(30度)

② 胸腹部の汗を拭く

③ 裸の赤ちゃんを抱っこする

＊赤ちゃんの顔を横に向け鼻を塞がないで呼吸が楽にできるようにする

④ 母子の胸と胸を合わせる

⑤ 両手でしっかり児を支える（温めたバスタオルで赤ちゃんを覆う）

＊実施中は血中酸素濃度測定器を装着します

＊適宜、呼吸や心拍など観察します

＊ご自身の体調が悪くないか確認して、不安がある時は医療スタッフに伝えましょう

＊継続時間は2時間以内で、早期母子接触実施中はスタッフが付き添います



3、注意事項

***赤ちゃんの安全の為、きちんと顔が見える位置に抱っこして目を離さないように
しましょう。赤ちゃんが以下の状態になった時はすぐに伝えてください。**

- ・顔色が悪くなる
- ・呼吸が無くなった
- ・苦しそうな声を出す
- ・様子がおかしい



♡生まれたばかりの
赤ちゃんは、お母さん
の肌のぬくもりと
感触が大好きです♡



児の顔が母親からよく見える位置で行う。

上体挙上する
(30度前後が望ましい)。

児の顔色が悪い、呼吸がとまる、
うなり声が出るなど、児の異変に
気づいたら、すぐに報告するよう
伝える。

温めたバスタオル等で児を覆う。

児の顔を横に向け鼻腔閉塞を
起こさず、呼吸が楽にできる
ようにする。



医療関係者による母子の
継続的な観察を行う。

または

新生児へのSpO₂モニタ、
心電図モニタ装置等の機器
による観察と医療関係者に
よる頻回な観察を行う。